はつかいち
広報
HATSUKAICHI
No.1161
平成24年（2012）
10月1日
News Bulletin
毎月1日・15日発行

特集

紡いでいく

神楽　そのとき、人は鬼になり、姫になり、神になる

―特集　2～15ページ―

「恵比寿（えびす）」―浅原神楽団―

9月9日、浅原市民センターで行われた敬老会。浅原神楽団が「恵比寿」を舞った。恵比寿さまの人徳を讃える舞であり、神祇舞（じんぎまい）のひとつ。恵比寿さまが「蛭子命（ひるこのみこと）」であるという説に基づき、常に腰を低くし、なよなよと舞う。この舞の所作の中には、滑稽な「しぐさ」も加わって、鑑賞者の心を楽しませてくれる。舞方は、沖野明彦さん（26歳）「小さい子どもが見て、神楽をやってみたいと思ってくれたらうれしいですね」と話してくれた。